

県民、事業者、関係団体、市町村、地域等が一体となって男女共同参画を推進する体制づくりとして男女共同参画県民会議を設置

地域：奈良県

主体：奈良県男女共同参画県民会議（奈良県生活環境部男女共同参画課）

場所：〒630-8501 奈良市登大路町 3 0（同男女共同参画課、以下同じ。）

連絡先：TEL (0742)22- 1101 FAX (0742)24- 5403

E-mail：danjo@pref.nara.jp

ホームページ：http://www.pref.nara.jp/danjo/

奈良県男女共同参画県民会議

【設立の経緯】

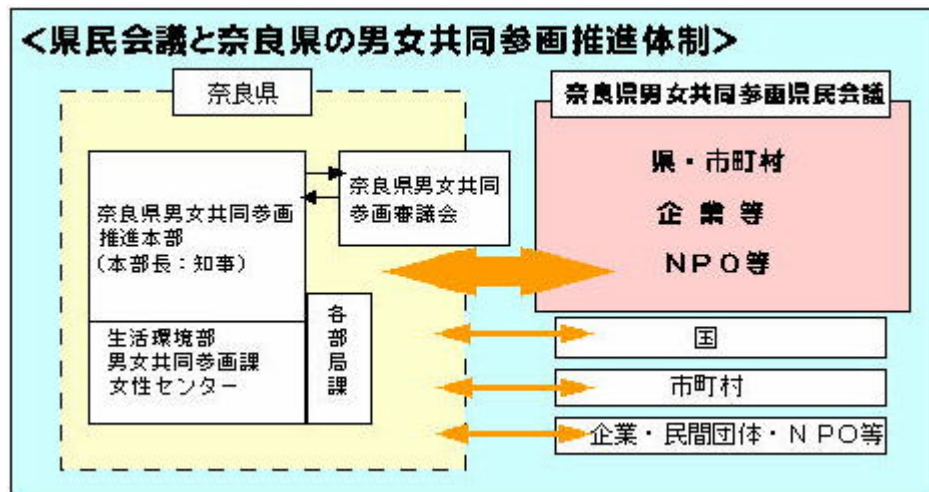
奈良県では男女共同参画を推進するため、女性団体を中心にした「男女共同参画推進会議」を平成 13 年度まで設置してたが、男性への理解協力や地域、職場への浸透が十分に進まないことから、団体の構成員に男性を多く含む団体や、企業団体にも参加を求めた。

【目的】

地域、職場、学校、家庭その他の社会のあらゆる分野において、男女共同参画の浸透を図り、それぞれの主体的な取組と相互連携により男女共同参画を積極的に推進するため、設置。

【構成メンバー】

行政(市町村代表、国の機関)・経済関係団体・様々な分野で活動する民間団体の各代表、学識者、一般公募県民等、60名の委員で構成。



現在構成委員数：57名＋公募委員3名

H14.7.9設立

行政関係

知事
奈良労働局雇用均等室室長
県（部長）
県教育委員会
市長会代表
町村会代表
奈良地方法務局人権擁護課課長

【教育団体】

奈良県PTA協議会
奈良県私立中学高等学校連合会
奈良県保育協議会

【生活等団体】

奈良県生活協同組合連合会
奈良県第二生活科学センター消費生活教室OB会
奈良友の会

【国際交流団体】

経済団体関係 奈良県商工会議所連合会 奈良県商工会連合会 奈良県経営者協会 奈良県中小企業団体中央会 青年会議所奈良ブロック協議会 J Aならけん(女性部) (社)奈良県銀行協会	(社)国際婦人教育振興会奈良県支部 国際ソロプチミスト奈良 【福祉関係団体】 (社福)奈良県社会福祉協議会 奈良県民生児童委員連合会 (社)奈良県母子福祉連合会 奈良県女性センターホームヘルパー連絡協議会 高齢社会をよくなる会・奈良 (社)なら女性フォーラム
学識経験者 音田昌子(審議会会長、計画策定委員、元読売新聞編集委員) 伊藤公雄(計画策定委員、大阪大学教授)	【健康関係団体】 (社)奈良県医師会 (社)奈良県歯科医師会 (社)奈良県看護協会 奈良県食生活改善推進員連絡協議会
報道機関等 奈良新聞社	【人権関係団体】 部落解放同盟奈良県連合会女性部 NPOなら人権情報センター 奈良「いのちの電話」協会(女性部)
その他機関 (財)21世紀職業財団奈良事務所	【労働団体】 連合奈良
関係団体 【広域女性団体】 奈良県地域婦人団体連絡協議会 奈良県婦人教育推進会 (社)大学婦人協会奈良支部 奈良県退職女教師の会 奈良県女性経営研究会 飛翔グループ(女性センター活動団体) 【広域団体】 奈良県地域づくり団体協議会 【農山村団体】 奈良県農村生活研究グループ連絡協議会 奈良県林業研究グループ連絡協議会 【青年、青少年団体】 (社)ガールスカウト日本連盟奈良県支部 奈良県青年団協議会 奈良県4Hクラブ連絡協議会	【環境団体】 奈良県環境県民フォーラムの主要団体(地婦連、奈良友の会)は加入 【NPO中間支援団体】 大和まほろばNPOセンター 奈良NPOセンター 【その他団体】 奈良弁護士会 奈良県ボランティア連絡協議会 奈良の文化を研究する婦人の会

【活動内容】

県民会議では、それぞれの立場で男女共同参画を推進するために、それぞれの団体で自主的な事業に取り組む。それ以外に、2つの部会を設置している。

(1)事業推進部会・・・事業の推進に関すること。

各団体が取り組む「男女共同参画を推進する自主的な事業」について、計画・実績報告をもとに部会で情報交換する。

(2)啓発推進部会・・・広報啓発に関すること。

平成14年度は県民会議の設立を広く周知するため、「男女共同参画県民大会」を開催し、女性で初めて関西経済同友会の代表幹事となった寺田千代乃氏の基調講演や、仕事と家庭の両立を行っている男女をパネラーにしてフォーラムを行った。

平成15年度からは県民会議の活動を県内に広く浸透を図るため、「男女共同参画県民ミーティング」を実施している。

また、県民会議ニュース「すてっぴ」を14年度から発行している。

【男女共同参画県民ミーティング】

県民会議を核とした男女共同参画の取組を市町村に浸透を図るため、県内を6ブロックに分け、3年計画(15～17年度)で事業を行う。県民ミーティングは、仕事と家庭・地域生活の両立や、地域活動を通じて男女共同参画を実践している地元の人をパネラーにパネルディスカッションをした後、会場(参加者)との意見交換に十分な時間(約1時間)を掛け、身近な取組を通じて地域での男女共同参画の推進を図っている。

○第1回テーマ「みんなで創ろう 輝く未来～はじめの一步 わたしにできること～」

平成15年9月14日(日)実施 参加者210名

○第2回テーマ「みんなで創ろう 輝く未来～安心して産める・生きる・老いる地域を目指して～」

平成16年1月17日(土)実施予定 定員200名

【課題】

- 事業への参加は女性が多く、男性や企業からの参加が進まない。
- 県民会議委員は女性が多く、また、若年者が少ない。

【今後の活動予定】

- 1, 県民会議は平成14年度に設立され、現在の委員の任期は15年度末で終了するため、委員の改選にあたっては、趣旨をよく説明し、若い層の委員就任を図っていく。
- 2, 県民会議の啓発活動を通じて、市レベルで市民会議を設置し男女共同参画を推進し始めたところもあり、今後も県民ミーティングを通じて市町村域での浸透を図っていく。
- 3, 県民会議には経済関係団体も多く参加していることから、ポジティブ・アクションなど女性の活用について内部で方策を検討し、企業での取組の促進を図っていく。

【県民会議構成団体の活動事例】

私たちは「少女と若い女性が、責任ある世界市民として、自らの可能性を最大限に伸ばせるようにする」ことを使命に、世界的に活動している女性を中心とした団体です。今まで女性だけで「ジェンダー」について学んで来ましたが、今後は男性の立場での考え方や意見を聞き、相互理解を深めていかなければと考えました。ボーイスカウト奈良県連盟のご協力を得て、標記事業をサブテーマ「ジェンダー

「性別にかかわらず自分らしく」
奈良県支部
(社)ガールスカウト日本連盟

奈良県生活協同組合連合会
「ならこっぴの取り組み」
ならこっぴは県民約二十万世帯が加入している生活協同組合です。県下十八事業所で構成されています。
正規職員が四百三十名、パート・アルバイト職員など約千三百名で構成し、男女比は男性34・7%、女性65・2%となっています。
組合員の大半が女性で構成され、環境問題や福祉活動、最近では子育て支援など創立以来活発な活動がされており、現在千名近い方々が日常運営に参加しています。
今年度は、男女共同参画の取組として、女性の社会参画

について共に考える」とし開催しました。事前に高校生年代の男女と成人男女各百名にアンケートを依頼。その集約結果を当日の話合いの資料とし、若い人と成人のグループに分かれ話し合いました。若い人のグループでは、無意識のうちに固定概念は取り払われつつあると感じられる反面、結婚したら仕事はやめる(女性側)結婚したら家に居て欲しい(男性側)という意見がごく普通に表されジェンダーバイアスが小さい時からかけられている事を強く感じまし

活動レポート

県民会議構成団体・委員の自主的な取り組みを紹介します



のひろがりや少子高齢化社会の進行などの状況を勘案し、常勤理事会など業務組織と労働組合の代表で構成する「男女共同参画研究会」を毎月開催し、アンケート活動やビデオ学習などをすすめてきました。



た。また、成人グループでは「男女共同参画」というと男対女という対立の構図が展開され、長い間取り組み、研修を積み重ねてきた女性との溝の深さを感じると同時に、男性を交えたこのような取り組みを全体的に(企業も入れて)広げていく必要を感じました。

「男女共同参画研究会」での成果を引き継ぎ、具体的な指針づくりをすすめることが、ならこっぴの大切な質の向上につながることを認識をして集中的な検討をすすめる。4月の策定をめざして取組をすすめています。

これらの中で、「仕事の与え方」、「内部情報の伝達」、「家庭での共同参画を支援する職場環境」などの面で障壁があることがわかりました。これらの課題と職場の風土改革をとらえ、決するための道筋を明らかにするために、プロジェクトチームを2月に発足し、短期間でポジティブプランを作成することとしました。

【奈良県女性センターにおける連携事業】

（連携機関）

- ・奈良しごとiセンター…女性の仕事力アップセミナー
- ・教育委員会…男女平等教育を考える講座
- ・農林水産関係部局…男女共同参画週間イベント
- ・女性団体…男女共同参画週間イベント、女性センター修了生グループが創る講座
- ・企業…男女共同参画セミナーin 企業（移動講座）
- ・21世紀職業財団…再就職セミナー
- ・奈良女子大学…地域講演事業 地域女性リーダー養成講座
- ・NPO…わくわくサロン

【センター利用者の意見・反応】

各事業についてアンケート結果によると

・女性の仕事力アップセミナー	「満足」及び「ほぼ満足」と答えた者	100.0%
・男女平等教育を考える講座	〃	88.9%
・女性センター修了生グループが創る講座	〃	79.4%
・男女共同参画セミナーin 企業	〃	77.5%
・わくわくサロン ボランティアとNPO	〃	93.1%

であり全般的に好評であった。

（男女共同参画週間イベントは、アンケート未実施。他の事業は、今年度中に実施予定。）

奈良しごとiセンターとの共催による女性の仕事力アップセミナーでは、技術力のアップと精神的なモチベーションのアップの両面が結合した講座となっているとの評価も受けた。

男女共同参画セミナーin 企業には、多数の男性参加者があり、初めてこうした話を聞く機会をもち参考になったとの意見が多くあった。またこの講座をきっかけに従来女性だけに割り当てられていた雑用の見直しが行われるなどの効果があった。今後とも講師の派遣を受けて学習会としたいとの要望も受けた。

【センター利用者のその後の好取組事例】

女性センター修了生グループが創る講座を担当したグループより、女性センター講師派遣事業講師団に登録し県内女性団体等の学習活動に講師として派遣。

教育委員会との共催事業においては、その後学校行事でも男女共同参画の視点が取り入れられ、講師の派遣、紹介等の依頼を受けた。

【今後の課題】

他機関との共催の場合、各機関の講座（研修）運営の仕方に相違があり（例えば託児の料金や対象児童の年齢等）その調整が課題。